**【書式２－１】債権仮差押命令申立書・当事者目録・請求債権目録・仮差押債権目録**

|  |
| --- |
| **債権仮差押命令申立書**  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　収　入  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　紙  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成○年○月○日  　東京地方裁判所民事第９部　御中  　　　　　　　　　　　　　　　　　債　　権　　者　　　○　○　○　○　印  　　　　　　　当事者の表示　　別紙当事者目録記載のとおり  　　　　　　　請求債権の表示　別紙請求債権目録記載のとおり  申立ての趣旨  　債権者の債務者に対する上記請求債権の執行を保全するため，債務者の第三債務者に対する別紙仮差押債権目録記載の債権は，仮に差し押さえる。  　第三債務者は，債務者に対し，仮差押えに係る債務の支払をしてはならない。  　との裁判を求める。  申立ての理由  第１　被保全権利  　１　債権者は，申立外○○○○に対し，平成○年○月○日，弁済期を同年○月○日，利息を年○○パーセント，遅延損害金を年○○パーセントと定めて，金２００万円を貸し付けた（甲１の１）。  　２　債務者は，債権者に対し，同年○月○日，申立外○○○○の債権者に対する支払債務の履行を連帯して保証した（以下「本件連帯保証契約」という。甲１の１，２）。  　３　申立外○○○○は，弁済期日の同年○月○日が到来しても上記債務を履行しないし，連帯保証人である債務者も，その支払を拒絶している。  　４　よって，債権者は，債務者に対し，本件連帯保証契約に基づき金２００万円並び  　　にこれに対する約定の利息及び損害金の支払請求権を有する。  第２　保全の必要性  　１　主債務者の申立外○○○○は，著しい債務超過状態に陥っていて，所有不動産（甲２の１ないし３）には固定資産税評価額（甲３の１，２）を大幅に上回る根抵当権が設定されており，他にめぼしい資産はない。したがって，債権者が申立外○○○○から本件債務の弁済を受けられる見込みはなく，債権者は，債務者に対して連帯保証債務の履行を求めるため訴訟を提起すべく準備中である。  　２　債権者は，平成○年○月○日に債務者に到達した内容証明郵便により，上記貸  金の返済を請求したところ（甲４の１，２），債務者から，勤務先の□□株式会社  　　を解雇されて現在定職はなく，債権者に返済する余裕がないという回答を得た（甲  　　５）。また，債権者が調査したところ，債務者の住居は借家であり，債務者所有の  　　不動産はない（甲６の１ないし３）。  　３　債務者は，債権者以外にも多くの債務を負担している様子であり，第三債務者に  　　対する預金債権しか見るべき資産はない（甲７）。しかし，これも現在の債務者の  　　生活状況からすればいつ引き出されるかも分からない状況にあり，債権者が後日本案訴訟において勝訴判決を得ても，その執行が不能あるいは著しく困難となるおそれがあるので，執行保全のため，本申立てに及ぶ次第である。  疎　明　方　法  　　甲１号証の１　　　　　金銭消費貸借・連帯保証契約書  　　甲１号証の２　　　　　印鑑登録証明書（債務者のもの）  　　甲２号証の１　　　　　不動産登記事項証明書（申立外○○○○所有土地）  　　甲２号証の２　　　　　同（申立外○○○○所有建物）  　　甲２号証の３　　　　　ブルーマップ写し  　　甲３号証の１　　　　　固定資産税評価証明書（申立外○○○○所有土地）  　　甲３号証の２　　　　　同（申立外○○○○所有建物）  　　甲４号証の１　　　　　内容証明郵便  　　甲４号証の２　　　　　配達証明  　　甲５号証　　　　　　　手紙  　　甲６号証の１　　　　　不動産登記事項証明書（△△△△所有土地）  　　甲６号証の２　　　　　同（△△△△所有建物）  甲６号証の３　　　　　ブルーマップ写し  　　甲７号証　　　　　　　報告書  添　付　書　類  　　甲号証　　　　　　　　　　各１通  　　資格証明書　　　　　　　　　１通  　　陳述催告の申立書　　　　　　１通 |

|  |
| --- |
| 当　事　者　目　録  　　〒○○○－○○○○　東京都○○区○○町○丁目○番○号（送達場所）  　　　　　　　　　　　　　　　債　　権　　者　　　　○　○　○　○  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話（○○）○○○○－○○○○  　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 FAX （○○）○○○○－○○○○  　　〒○○○－○○○○　○○県○○市○○町○丁目○番○号  　　　　　　　　　　　　　　　債　　務　　者　　　　○　○　○　○  　　　　　　　　○○県○○市○○町○○丁目○番○号  　　　　　　　　　　　　　　　第三債務者　　　　株式会社○○銀行  　　　　　　　　　　　　　　　上記代表者代表取締役　○　○　○　○  　　（送達先）  　　〒○○○－○○○○　東京都○○区○○町○丁目○番○号  　　　　　　　　　　　　株式会社○○銀行○○支店 |

|  |
| --- |
| 請　求　債　権　目　録  　金２００万円  　ただし，債権者が申立外○○○○に対して有する下記債権について，債権者と債務者間の平成○年○月○日付け連帯保証契約に基づき，債権者が債務者に対して有する連帯保証債務履行請求権のうち元金部分の履行請求権  記  　債権者は，申立外○○○○に対し，平成○年○月○日，弁済期を同年○月○日，利息を年○○パーセント，遅延損害金を年○○パーセントと定めて，金２００万円を貸し付けた。 |

（注）債権仮差押えにおいては，当該債権以外に仮に差し押さえるべき財産がない状況にあることを疎明する必要があるので，債務者の住所又は本店及び登記された支店の所在地の不動産登記事項証明書や当該住所地（本店所在地等）の住居表示と不動産登記記録上の所在地との一致を立証するためのブルーマップなどを提出してください。

|  |
| --- |
| 仮　差　押　債　権　目　録  　　金２００万円  　ただし，債務者が第三債務者（○○支店扱い）に対して有する下記預金債権のうち，下記に記載する順序に従い，頭書金額に満つるまで  記  　１　差押えや仮差押えのない預金とある預金があるときは，次の順序による。  　 (1)　先行の差押え，仮差押えのないもの  　 (2)　先行の差押え，仮差押えのあるもの  　２　円貨建預金と外貨建預金があるときは，次の順序による。  　 (1)　円貨建預金  　 (2)　外貨建預金（仮差押命令が第三債務者に送達された時点における第三債務者  　　　の電信買相場により換算した金額（外貨）。ただし，先物為替予約がある場合  　　　には，原則として予約された相場により換算する。）  　３　数種の預金があるときは次の順序による。  　 (1)　定期預金  　 (2)　定期積金  　 (3)　通知預金  　 (4)　貯蓄預金  　 (5)　納税準備預金  　 (6)　普通預金  　 (7)　別段預金  　 (8)　当座預金  　４　同種の預金が数口あるときは，口座番号の若い順序による。  　　　なお，口座番号が同一の預金が数口あるときは，預金に付せられた番号の若い順  　　序による。 |